

# 食流機構

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構  
<http://www.ofsi.or.jp/>

2017

10月号

No.262

# OFSI

the ORGANIZATION OF FOOD-MARKETING STRUCTURE IMPROVEMENT

## I N D E X

- 平成 30 年度農林水産関係予算 概算要求の概要 ②
- 連載 当たり前前田の会計入門 ⑩ ⑥
- 連載 食流紀稿（第十一話）／気が付けば朗朗介護！ ⑫ ⑦
- 農林水産省「消費者の部屋」特別展示開催スケジュール ⑧

## 巻頭言

9月の18日に、京都で開かれた全国水産物小売業商業協同組合連合会（全水商連）の全国京都大会にお招きをいただき、出席した。その日のうちに台風が近畿地方に来るかもしれないという天気予報は、幸いややはずれ、夜までは雨も降らないという状況下で、全国各地から大勢の水産物小売商の皆さんが集まり、地元の京都府知事や京都市長もお祝いにかけつけられ、大いに盛り上がった大会になった。

この大会では、近畿大学世界経済研究所水産・食料戦略分野の教授で（株）食縁の社長を兼ねる有路昌彦氏による「持続可能な養殖水産物の確保と認証制度」というテーマの記念講演が行われた。

氏は、これまでの養殖漁業の技術の発達を踏まえ、また今日の気象や海象の変動と国際的な漁業環境から、今後国民に安定的に水産物を供給するためには養殖漁業の果たす役割がますます重要になることを力説するとともに、（株）食縁が消費者に食べやすい形で養殖魚類を提供する努力をしていることなどを紹介し、さらに養殖水産物について生産—流通—消費をつなげるトレーサビリティを示してブランド力を高めるための認証制度を確立することが必要であるという。そして、現在その準備に取り掛かっていることについての解説があった。具体的な一例としては、近大水産学科が40年余の期間をかけて世界に先駆けて成功して完全養殖（卵から稚魚～成魚まで）のマグロについて、消費者に供給される時点までの各段階でそのことがわかるような認証制度を立ち上げ

たいということであった。

優れた技術により生産された養殖魚が認証制度により生産から消費までその価値を明確にして流通することは意義あることであると思う。有路氏がこのことを力説するのは、大変な努力をして開発に成功した完全養殖のマグロ等を流通業者や消費者にその価値を明確に認識してもらい、他の養殖マグロや蓄養マグロとは異なるものとして経済的に評価してもらわなければ養殖事業として継続しにくいという経営上の問題を抱えているからであろう。

水産物に限らず、工業製品でも農産物でも多額の投資や長い時間をかけて開発したものが必ずしもそのコストを償うに足る経済的価値を実現できず事業として失敗に終わる例は多くみられる。技術開発が成功しても、その事業化に成功するには適切な価格形成をはじめ様々な条件を克服する必要があり、また場合によっては制度的サポートが必要になるだろうことは想像に難くない。近畿大学の水産部門は、マグロの完全養殖を始め養殖漁業分野で数々の素晴らしい技術的・学問的成果を上げているが、それが経済事業として自立発展するためには、有路氏のいう認証制度も含め、様々な条件整備やサポート措置が必要であろう。氏が言われるように養殖漁業の重要性は今後とも増大するであろうことは間違いない。関係者の努力により新技術による養殖漁業が経済的にも評価され事業として発展することを願ってやまない。

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

会長 馬場 久萬男

# 平成 30 年度農林水産関係予算 概算要求の概要

平成 30 年度農林水産予算概算要求の概要が、先日公表されました。主要項目は以下 8 項目となりますが、その中から食料産業局の関係予算をご紹介します。

1. 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進
2. 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施
3. 強い農林水産業のための基盤づくり
4. 農林水産業の輸出強化と農林水産物・食品の高付加価値化
5. 食の安全・消費者の信頼確保
6. 農山漁村の活性化
7. 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理
8. 漁業の成長産業化と資源管理の高度化

## ◆予算概算要求のポイント

農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村を実現するため、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づく農政改革を着実に実行する予算を要求。

## ●強い農林水産業のための基盤づくり

※（ ）内は、29 年度決定額

### 強い農業づくり交付金【29,000（20,174）百万円】

国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な産地基幹施設の整備等を支援

#### 【主な内容】

#### 食品流通拠点整備の推進

食料の安定的な供給体制等を確保するため、産地・消費地での共同配送等に必要なストックポイント、機能高度化を図る卸売市場施設等の整備を支援します。

【お問い合わせ先】 食料産業局食品流通課（03-6744-2059）

### 農業生産関連事業の事業再編・事業参入の支援

（株）農林漁業成長産業化支援機構、（株）日本政策金融公庫を通じ、事業再編計画・事業参入計画の認定を受けた農業生産関連事業者等を出融資により支援

#### 【主な内容】

農業生産関連事業者が取り組む生産資材価格の引下げ、農産物の流通・加工構造の改革に必要な資金について（株）農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）を通じた出資等や、（株）日本政策金融公庫を通じた長期低利融資による支援を行います。

#### 1. 農林漁業成長産業化ファンドによる出資等（財投資金） 出融資枠：225 億円の内数

【お問い合わせ先】 食料産業局産業連携課（03-6738-6473）

#### 2. 日本政策金融公庫による資金の貸付け（財投資金） 融資枠：5,400 億円の内数

【お問い合わせ先】 食料産業局企画課（03-3502-2059）

### 食品流通合理化促進事業【1,240（一）百万円】

直接販売の取組や輸出拠点化構想の策定支援、物流効率化のための ICT システムや必要な設備の導入、物流情報の「見える化」の促進を支援

#### 【主な内容】

#### 1. 食品流通合理化・新流通確立事業 【220 百万円】

流通業者等による生産情報の実需者への提供や代金決済の円滑化など直接販売の促進、ICT の活用等によるサプライチェーンの合理化に取り組む輸出拠点構築等のための調査・実証・設備導入の取組を支援

#### 2. 食品等物流改革高度化支援事業の（1）物流業務改革促進支援事業 【1,000 百万円】

生産者や流通業者による一貫パレチゼーションの取組や ICT を活用したトラックの予約受付システム等の導入のほか、新たな船舶輸送体制の構築等の新たな流通技術・方式の実証を支援

#### 3. 食品流通の「見える化」機能強化事業 【20 百万円】

流通ルートの「見える化」サイトのシステムを拡張し、生産者が選択した流通業者への出荷に利用可能な物流業者の情報や、農協、卸売市場等の有する物流関連施設等の利用条件、帰り便の空き状況等の物流関連情報を「見える化」する取組を支援

【お問い合わせ先】 食料産業局流通課（03-3502-5741）

## 食品産業イノベーション推進事業【200（一）百万円】

ICT・ロボット・AI技術の活用や人材育成等により、食品製造業から外食・中食産業に至る食品産業全体の生産性向上を推進する取組を支援

### 【主な内容】

#### 1. モデル実証の支援

##### (1) 革新的技術活用実証事業

人手不足の解消や生産コスト低減、経営管理能力向上のためのICT・ロボット・AI技術の導入、業務の共同化等による生産効率向上など、革新的な技術の活用実証を支援します。

##### (2) 業種別業務最適化実証事業

既存の機械等を活用しながら、汎用性の高い仕入・発注・会計のシステム化や外注化による付加価値向上や専門家の工場診断による生産性向上などを通して、業務の高度化を実施する取組を支援します。

#### 2. 研修会等の開催

本事業による実証・調査結果も活用し、従業員のほか、経営者の生産性向上に対する意識改革を目的とした研修会等の開催や業界内で横展開する取組を支援します。

#### 3. 先進・優良事例等の調査

ICT・ロボット・AI等の新たな技術を活用して生産性向上を図る取組や、外食・中食産業の業務の効率化・合理化を図る取組、原材料・資材等の共同調達・輸送・保管等により生産性や災害時の危機対応能力の向上を図る取組、災害時の損害抑制等のためのレジリエンス獲得などの先進・優良事例調査等を支援します。

【お問い合わせ先】 外食・中食産業関係：食料産業局食文化・市場開拓課(03-6744-7177)

食品製造業関係：食料産業局食品製造課(03-6744-2249)

## ●農林水産業の輸出力強化と農林水産物・食品の高付加価値化

### 農林水産業の輸出力強化【7,715（5,213）百万円】

「農林水産業の輸出力強化戦略」等の着実な実施に向け、オールジャパンでの戦略的プロモーション等による海外需要の創出、輸出環境の整備を推進

### 【主な内容】

#### 1. 海外需要創出等支援対策事業 【4,850（3,219）百万円】

海外における日本産農林水産物・食品の需要創出の取組を更に強化するため、JFOODOによる重点的・戦略的プロモーションやJETROによる輸出総合サポート、品目別団体等によるオールジャパンでの販売促進等を支援します。

#### 2. 輸出環境整備推進事業 【776（293）百万円】

輸出環境整備に係る政府間交渉において必要となる情報・科学的データの収集・分析等を実施するとともに、自ら輸出環境の整備（既存添加物の登録等）に取り組む事業者を支援します。

#### 3. 海外農業・貿易投資環境調査分析事業 【878（697）百万円】

農林水産物・食品の輸出拡大や食産業の海外展開の促進に向け、官民協議会等の開催、諸外国の制度・投資環境等の専門的調査、二国間政府対話等での官民連携による働きかけ・PRの実施、食産業インフラを浸透させるための取組支援を実施します。

【お問い合わせ先】 食料産業局輸出促進課(03-3502-3408)

### 規格・認証、知的財産の戦略的活用の推進【1,864（402）百万円】

規格・認証、知的財産を戦略的に活用し、日本の農林水産物・食品の輸出を促進するとともに、日本の食品・食文化の普及を推進

### 【主な内容】

#### 1. 新たな種類のJAS規格調査委託事業 【90（45）百万円】

我が国の産品・事業者の強みをアピールできるJAS規格・認証の制定・活用と国際化に向け、国際的な規格・認証の動向調査、JAS規格素案の作成、JASの国際化に必要な海外との折衝・調整や国際的に通用する専門家の育成を推進します。

#### 2. 日本発食品安全管理規格策定推進事業 【140（100）百万円】

日本の食文化や企業文化に適用しやすい、日本発の食品安全管理規格やガイドラインの普及及び充実と国際承認取得を推進します。また、食品安全管理の知見を有し、国内外で活躍する人材、国際的標準化の議論に参画できる人材の育成・支援のための仕組み、産官学連携体制づくりを支援します。

【お問い合わせ先】 食料産業局食品製造課(03-6744-7180)

#### 3. 地理的表示保護制度活用総合推進事業 【251（174）百万円】

GI（地理的表示）保護制度の活用を進めるため、GIの登録申請等を支援するとともに、海外における模倣品等の調査や、外国とのGIの相互保護の実現に向けた海外におけるGIの保護・侵害対策等を支援します。

#### 4. 植物品種等海外流出防止総合対策事業 【500（83）百万円】

海外への我が国優良品種の流出・無断増殖を防止するため、海外における品種登録（育成者権取得）や侵害対応等について支援するとともに、品種保護に必要な技術的課題の解決や、東アジアでの品種保護制度の整備を促進するための協力活動等を推進します。

【お問い合わせ先】 食料産業局知的財産課(03-6738-6169)

## 食料産業・6次産業化交付金【2,719（2,192）百万円】

6次産業化に係る市場規模の拡大とともに、その付加価値を農村地域に還元させるため、地域内に雇用を生み出す取組や施設整備を支援

### 【主な内容】

各都道府県の実態に応じて、柔軟にメニューの活用が可能となるよう、関連事業（6次産業化ネットワーク活動交付金、地域の魅力再発見食育推進事業、地域バイオマス利活用推進事業）を集約・再編して新たな交付金を創設し、次の取組を支援します。

- (1) 加工・直売の取組への支援 【お問い合わせ先】 食料産業局産業連携課 (03-6738-6473)
- (2) 地産地消をはじめとした食育の推進 【お問い合わせ先】 食料産業局食文化・市場開拓課 (03-3502-5723)
- (3) バイオマス利活用への支援 【お問い合わせ先】 食料産業局バイオマス循環資源課 (03-6738-6477)
- (4) 営農型太陽光発電の高収益農業の実証 【お問い合わせ先】 同上

## 6次産業化の推進【3,524（3,040）百万円の内数】

新商品開発・販路開拓や施設整備、関係機関の連携の下での事業者等に対するサポート体制の整備、外食・中食における地場産食材の取引先確保等を支援

### 【主な内容】

#### 1. 6次産業化支援対策 【3,524（3,040）百万円】

##### (1) 加工・直売の取組への支援 【2,719（2,192）百万円】

地域の創意工夫により、農林漁業者等と食品製造・流通業者等の多様な事業者がネットワークを構築して行う6次産業化等の取組を推進するため、以下の取組を実施します。

①加工・直売の推進 ②加工・直売施設整備

##### (2) 6次産業化サポート事業 【805（849）百万円】

6次産業化に取り組む農林漁業者等の事業を総合的にサポートするため、主に以下の取組を実施します。

①広域で6次産業化等に取り組む事業者向けの支援 ②6次産業化・新産業の創出促進

③外食・中食等における国産食材の活用促進 ④6次産業化の事例収集・情報発信支援

⑤関係機関と連携を確保したサポート機関の支援

#### 2. 農林漁業成長産業化ファンドの積極的活用（財投資金） 出融資枠：225億円の内数

㈸農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）を通じ、農林漁業者等が主体となって流通・加工業者等と連携する取組等に対して、資本の提供と経営支援を一体的に実施します。また、6次産業化に取り組む農林漁業者等の販路開拓等を支援する事業者（支援事業者）への出資など、A-FIVEの直接出資も積極的に活用します。

【お問い合わせ先】 1(1)、(2) ①④⑤、2の事業……食料産業局産業連携課 (03-6738-6473)

1(2) ②の事業……食料産業局知的財産課 (03-6738-6442)

1(2) ③の事業……食料産業局食文化・市場開拓課 (03-6744-7177)

## 食育の推進と国産農林水産物の消費拡大【3,244（2,773）百万円の内数】

地産地消や和食文化の保護・継承をはじめとした食育の推進を図るとともに、国産農林水産物の消費拡大の取組等を推進

### 【主な内容】

#### 1. 食育の推進 【2,775（2,252）百万円の内数】

##### (1) 地産地消をはじめとした食育の推進

第3次食育推進基本計画の目標のうち、食文化の継承等農林水産省関連の目標達成に向けて、地域の関係者が連携して取り組む、地域食文化の継承、和食給食の普及、農林漁業体験機会の提供、共食機会の提供、地域で食育を推進するリーダーの育成等の食育活動を支援します。

#### 2. 国産農産物消費拡大事業 【469（521）百万円】

##### (1) 「和食」と地域食文化継承推進事業

ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を国民全体で保護・継承するため、和食文化をテーマに次世代継承型の食育活動を推進するとともに、メディア等と連携して和食文化の魅力等を効果的に発信します。

##### (2) 日本の食消費拡大国民運動推進事業

生産者・食品関連事業者・団体、国が一体となって国産農林水産物の消費拡大を推進するため、日本の食の魅力を生産者に広く普及する活動や、国産農林水産物の利用を積極的に進める食品関連事業者等の取組を後押しするための表彰等を通じた情報発信を実施します。また、学校給食等へ地場産食材を安定供給する取組をはじめとした地産地消を推進するためのコーディネーターの育成等を支援します。

##### (3) 健康な食生活を支える地域・産業づくり推進事業

地域の農産物等の機能性に着目して健康関連の食市場を開拓するため、食による健康都市づくりに関する地域の取組を支援するとともに、制度活用ノウハウの情報提供など、機能性表示食品制度等の活用を促進するための環境整備を支援します。

【お問い合わせ先】 食料産業局食文化・市場開拓課 (03-6744-7185)

## 持続可能な循環資源活用総合対策【257（231）百万円】

持続可能な循環資源の活用を図るため、バイオマスや再生可能エネルギーの活用等の推進とともに、食品産業における食品ロス削減に向けた取組を支援

### 【主な内容】

1. 循環資源活用対策事業
  - (1) 循環資源活用支援事業
  - (2) 循環資源活用状況調査委託事業
2. 食品産業環境対策事業
  - (1) 食品ロス削減運動の展開事業
  - (2) 食品産業の地域温暖化・省エネルギー対策促進

【お問い合わせ先】 食料産業局バイオマス循環資源課 (03-6738-6477)

## ●農村漁村の活性化

### 再生可能エネルギー導入等の推進【3,237（2,684）百万円の内数】

再生可能エネルギーの事業効果を地域の農林漁業の発展に活用する取組、小水力発電等に係る調査設計、地域バイオマス活用に必要な施設整備等を支援

### 【主な内容】

1. 循環資源活用支援事業 **【257（231）百万円の内数】**
  - (1) 地域資源活用展開支援事業
  - (2) 農山漁村再生可能エネルギー地産地消型構想支援事業
2. 地域におけるバイオマスの利活用の推進・営農型太陽光発電の実証 **【2,719（2,192）百万円の内数】**
  - (1) バイオマス利活用の推進
  - (2) 営農型太陽光発電の高収益農業の実証
  - (3) バイオマス利活用施設整備

【お問い合わせ先】 食料産業局バイオマス循環資源課 (03-6738-6477)

## 生鮮取引電子化推進協議会主催

# 平成29年度第1回 生鮮取引電子化セミナー

～生鮮取引における2020年問題～

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、農業生産の各段階でPDCAを実践するGAPに対する注目が高まっています。また、2020年代中頃までには公衆電話網（PSTN）からIP網への全面移行が予定されており、従来型EDIの通信インフラへの影響が危惧されています。

本セミナーでは、話題のGAPと生鮮EDIについて最新の具体事例を交えながら分かり易く解説していただきますので、この機会に是非ご参加下さい。

### ◆開催日及び会場

開催地	開催日	会場
大阪会場（定員80名）	11月14日（火）	大阪市中央卸売市場本場 業務管理棟 16階 大ホール
東京会場（定員80名）	11月30日（木）	馬事畜産会館 2階 会議室

### ◆プログラム（各会場共通）

時間	講演内容
12:30～	受付開始
13:00～13:10	主催者挨拶
13:10～14:00	<b>GAPと卸売市場</b> 東京青果株式会社 取締役 営業管理部長 大竹一平 氏
14:00～14:10	質疑応答
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	<b>生鮮EDI最新事情（仮題）</b> 株式会社サイバーリンクス 流通クラウドサービス事業部 企画室長 三浦明 氏
15:20～15:30	質疑応答
15:30	閉会

### ◆参加申込方法

生鮮取引電子化推進協議会のホームページ（URL：<http://www.ofsi.or.jp/kyougikai/>）から直接お申込み下さい。

### ◆お問い合わせ先

生鮮取引電子化推進協議会事務局（TEL：03-5809-2867 / FAX：03-5809-2183） 担当：田中



## 当たい前田の 会計入門 18

ようやく秋らしいシーズンとなってきました。秋バテという言葉があるように夏場の暑さに耐えてきたところでホッと一息。その反動がでる時期だそうです。皆さんも十分ケアしながらこれから訪れる秋～冬場に備えて下さい。

先月号まで17回にわたり、経理・会計の基本的知識・実務について解説してきました。今月号から作成・公表された財務諸表の「経営分析・財務諸表分析」を中心に解説したいと思います。

### 【財務諸表の分析】

重点をどこにおいて分析するか ～ バランスシートを見る立場

1. 安定性 …… 資金と内部留保
2. 収益力 …… 実態の把握と配当余力
3. 成長性 …… 伸長度・製品・事業

#### ①安定性

- イ. 資金調達状況 …… 金融力・金融系列（取引銀行を含めた調達ルート等の選択肢）  
資本金・資本剰余金・利益剰余金（資本の充実度）

#### ロ. 設備資金と運転資金の調達バランス

\* 固定資産の購入資金の源泉

- ・ 固定比率 …… 理想100%以下、健全範囲100%～120%、200%超黄色信号
- ・ 固定長期適合比率 ※業種により著しく異なります …… 低ければ低いほど好ましい。理想は100%  
(日本企業の場合: 鉄鋼 290%、化学 200%、繊維 180%、電機 120%)

\* 支払資金に困るようなことはないかどうか

- ・ 流動比率 …… 理想200%以上、標準150%、100%以下黄色信号
- ・ 当座比率 …… 理想100%以上、標準90%、80%以下黄色信号

#### ハ. 財務内容の充実

\* 内部留保の厚み

- ・ 自己資本比率 …… 高いほど企業経営の安全性が高い。健全レベルは50%以上。  
(剰余性引当金を考慮する必要があるのでB/Sを良く見る)

#### ②収益力

収益は多いほど良い …… 企業の目的は「利益の追求」である

\* 利益絶対額と企業規模により利益率は異なり、その評価基準は変わる

- ・ 資本金利益率 …… 資本金に対する利益獲得率。高いほど良い。
- ・ 自己資本利益率 …… 自己資本に対する利益獲得率。過少資本の場合利益率が高くなるので注意が必要。
- ・ 総資本利益率 …… 企業に投下された総資本が効果的に経営活動に使用されたか。高いほど良い。

\* 配当金 …… 利益金処分された配当金（現金・株式）

- ・ 配当性向 …… 当期利益金のうち配当金の支払に向けられた額の比率  
(配当性向が高いほど内部留保は低くなる)
- ・ 1株あたりの利益 …… 税引後純利益を発行済株式数で除した比率。

\* 収益の実態

- ・ 経常利益と純利益 …… 特別損益と法人税等を控除した結果が純利益となります
- ・ 法人税等の引当 …… 当期所得に対する法人税・住民税納付見込額を引当
- ・ 申告所得 …… 当期利益を基に法人税申告計算をした結果の数値となります

#### ③成長性

数期間にわたる推移を見ることで成長度かわかる

- ・ 売上高の増加 …… 毎年の売上高を前年度との比較における状況（増加・減少）
- ・ 純利益の増加 …… 利益率の推移を見る
- ・ 限界利益率 …… 固定費の多い会社は好況に旨味・不況に弱い  
(限界利益÷売上高=限界利益率 限界利益=売上高-変動費)  
限界利益率が高いと損益分岐点が下がり、利益を出しやすくなる。  
限界利益率が低いと固定費を回収しにくくなる。
- ・ 株価収益率 …… 株価を一株当たり当期純利益で割ったもの  
株価収益率が高いときは、企業の株価は割高と評価される  
株価収益率の標準値は14～20の間が適正とされている

[分析比率の良・否の目安は帝国データバンク発行「全国企業 財務諸表分析統計」による]

(続く) (M)



## 食流紀稿

### 第十一話

## 「味は美しいか うまいは美しいか」

食べ物の味を表現する日本語の感覚は独特です。「おいしい」という言葉は「美味しい」と書きます。「うまい」という言葉も「美味しい」「旨い」「甘い」と書きます。

私はまったくグルメではありませんが、この言葉のセンスにはしびれます。英語圏では delicious や tasty でしょうが、「味が美しい」という語感はありません。食文化の先輩である中華圏にはあるのでしょうか。また「親子丼」「他人丼」「いとこ丼」はては「躍り食い」などという表現も日本独特でしょうが、いささか悪趣味ではないかと私は思います。

前にも紹介しましたが、肉食禁止時代に猪を山鯨、鹿をモミジ、馬肉をサクラ、鶏肉をカシワと言ったのも言葉の遊びです。しかし豚はせいぜい「トン」と音読みするだけで言葉の遊びがありません。豚はそのまんま豚です。これは不当な差別ではないでしょうか。この差別待遇は洋の東西を問わないようで、「太った豚となるよりも、やせたソクラテスたれ」は経済学者スチュアートミルの有名な言葉です。太ったソクラテスでなにが悪い、それはともかく、豚に真珠、豚やろうなど、どうも豚のイメージは悪い。

私は子供の頃、柿泥棒をやって「お前らブタ箱に入れるぞ」と怒られ震え上がりました。近所に養豚場があって、臭いと鳴き声が嫌で近寄らなかったのですが、豚と一緒に閉じ込められるのかと、たまらず泣き出しました。その後、私が清く正しい人生を送ることが出来たのは柿泥棒のおかげです。

長崎の知人がやっている五島列島の民宿に泊まり、島々の美しい夜景と釣りを堪能しましたが、「美味しい肉が手に入った」と言われ、裏山のワナにかかって檻で暴れているイノシシを見ました。「いいでしょう」と自慢されたのですが、固辞して、禁漁期間中の伊勢エビを「一匹や二匹は大丈夫」とご馳走になりました。びっくりするほど濃厚な香りと味がしました。アジやサバ、クロダイ、サザエ、アワビ等の貝類も上物ばかりです。なんで、五島列島でイノシシを食わなきゃなんのか。

食料自給率の低下が問題になったとき、牛肉 1kg に必要な飼料は 8kg だが、豚肉 1kg を生産するには 3kg でいい、鶏肉だと忘れましたがもっと少ない、だから地球の飢餓問題を解決するには牛肉よりも豚肉、豚肉よりも鶏肉を食べるほうがいいと言われましたが、それなら国民全員がベジタリアンになればいい、と何の役にも立たない「へりくつ」ばかりが浮かびました。

今年も天候不順で野菜も果物も魚までも供給不足となっています。太った豚どころか、やせたサンマも手に入りにくくなった秋の私の思いです。

フードサプライ研究所 代表 浅沼 進

## 連載 「気が付けば朗朗介護！」 ②



特別養護老人ホーム（以下「特養」）に入所する第 1 歩は、申込受付センターに申込書を提出することから始まる。希望する特養が 5 件まで記載できるようになっており、申込受付センターから各々の特養に情報が送られる仕組みだ。その後、特養から申込者に直接連絡があり、入所面接を行い、審査会を経て入所できるかが決まる。ここでようやく入所待ちの列に加わることができるのだ。ただ、特養からの連絡が必ずあるとは限らない。また面接までこぎつけたとしても、入所できる保証はどこにもないのだ。

最初の連絡が来たのはショートステイで利用している特養だった。ショートステイのお客様ということで、とりあえず連絡をくれたのかもしれない。面接では健康状態や日常生活などを聞かれ、本人との面談もあった。好印象を与えるよう、精一杯アピールしたつもりだが、2 週間経っても音沙汰がなかった。あまり好きな表現ではないが、「保育園落ちた、日本〇〇」の気持ちがちょっとだけ分かった。「特養落ちた、日本〇〇」

まもなくして 2 件目から電話があり、面接日が決まった。新館を増設し、200 人収容という大きな特養だ。面接日は秋晴れの穏やかな日。広々としたロビーは日当たりがよく、ホテルを思わせるような雰囲気だった。

面接が始まり、好印象を与えるためにがんばる私の横で母はブスとしていている。どうしてここに連れてきたの、と不満げな様子がありありだ。さらに大きなあくびをする始末。「やばっ、これじゃあ印象悪くなる」と焦った。しかし特養の方は慣れた様子で「自然のままでもいいんですよ、暖かいから眠くなったのかも？眠ってもいいですよ」と優しく母に話しかけた。母のばつ悪そうな顔を見て、笑ってしまった。

施設内も見学した。全室個室、8畳ほどの広さでベッドと洋服ダンス、テレビ台付き整理ダンスが置いてある。母が「きれいだね」とつぶやいたほど新しくてきれいな部屋だった。食事をする共同スペース、トイレ、浴室、談話室なども見学した。

「待機している人は多いですか」と聞くと、「入所できるようになって連絡すると、今回は辞退したいとか、まだ気持ちの整理がつかないので後の方を先に、など突然のことに動揺する方が多いですね。なので、意外に早く入所できることもあります。」とのこと。なるほど、気持ちがわからないでもないけれど、将来のことを考えて今から申込んでおく、という保険みたいなことはできるだけ辞めてほしいなあと思う。

5日後、面接を受けた特養から連絡があった。なんと合格、しかも空きが出たのでどうですかとの、夢のような話だった。突然のことに私も動揺し、母になかなか言えなかったのだが、ここでチャンスを逃してはいけないと思い、夕食の時、母にすべてを話した。少し考え込んでいたが、母は「わかった、行く」と笑って答えた。それは、息子にこれ以上迷惑をかけたくないとの気持ちからだ、私は思った。（続く） 渋柿

# 農林水産省「消費者の部屋」特別展示開催スケジュール

農林水産省「消費者の部屋」では、消費者の皆様へ食料、農林水産業、農山漁村等に関する情報の提供を行う特別展示を行っております。その開催スケジュール（平成29年10月分）をご紹介します。ご興味のあるテーマがありましたら、是非見学にお立ち寄りください。

期間	特別展示名	開催目的	展示内容	担当
10月2日 ～ 10月6日	ココロにおいしい、冷凍食品	冷凍食品産業の振興及び消費者への普及啓発を図る。	10月18日は「冷凍食品の日」です。冷凍食品を使うことで、時間の余裕と心のゆとりが生まれ、生活の質を向上させることができます。-18℃以下で管理されているため細菌が活動できず衛生的なことや、急速凍結により栄養や美味しさが保たれていることなどをお知らせします。さらに、家庭用だけでなく給食や外食産業等でも冷凍食品が使われていることを試食も交え紹介します。	食料産業局 食品製造課
10月10日 ～ 10月13日	森からの恵み～きのこや特用林産物～	特用林産物に関する理解の促進と普及による需要拡大。	10月15日は「きのこの日」。きのこ類をはじめ、木炭、竹、漆等の特用林産物について、パネル、パンフレット等によりわかりやすく解説するとともに、実物のきのこ木炭、竹等を展示・紹介します。	林野庁 林政部経営課
10月16日 ～ 10月20日	統計でみる「農林水産業の姿」(仮称)	広く消費者等一般国民に対して統計調査の普及、広報を行うことで、統計に対する消費者等国民の理解と関心を深め、統計調査に対する国民の一層の協力の推進を図る。	10月18日は「統計の日」です。農林水産統計調査等の結果から見た全国及び地域の農林水産業をパネル・報告書等で紹介するとともに、水稲収穫量調査のしくみ等について展示を行います。	統計部 統計企画管理官
10月23日 ～ 10月27日	世界農業遺産・日本農業遺産(仮)	世界農業遺産・日本農業遺産の認知度の向上及び、保全活動への消費者の理解増進を図る。	世界農業遺産とは、地域の伝統的な農業・農法とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性が一体となった“世界的に重要な農業システム”を国連食糧農業機関（FAO）が認定する仕組みです。日本農業遺産とは、世界農業遺産の考え方をベースとしながら日本独自の基準を追加し、我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を農林水産大臣が認定するものです。これら地域の取組を地域特産品の紹介やポスター展示などで紹介します。	農村振興局 農村政策部 農村環境課
10月30日 ～ 11月2日	さつまいも・じゃがいもの週～いもの魅力、再発見！～	かんしょ・ばれいしょが最も美味しい季節に、かんしょ・ばれいしょについての理解を深めてもらい、消費拡大を図る。	「さつまいも・じゃがいも」は、生食用のほか加工食品やデンプン等の様々な食品に加工され、私達の身近な食品に広く利用されています。また、近年は、それぞれの用途に合った新しい品種が多く開発されており、東アジアや東南アジアを中心に海外でも日本のさつまいもの人気が高まっているなど、いま注目の食材です。本展示では、日頃店頭では見かけない品種とその特性を紹介するとともに、さつまいも・じゃがいもを使った製品や調理法の紹介、試食などを行います。	政策統括官付 地域作物課

※ この特別展示スケジュールは、予告なく追加・変更されることがあります。

- (1) 入場は無料です。
- (2) 特別展示は、期間中の月曜日から金曜日まで行っています。ただし、祝祭日、年末年始は閉室です。
- (3) 開室時間は、10時から17時までです。ただし、展示初日は12時から17時、展示最終日は10時から13時です。
- (4) アクセス：東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線の霞ヶ関駅下車。  
A5、B3aの出口すぐ（右地図参照）。

◆ 詳しくは、消費者の部屋（☎ 03-3591-6529）にお問い合わせ下さい。



## 編集後記

- ▶ 先日公表された平成30年度農林水産予算概算要求の概要について、半の他の選手を引き離していく走りは圧巻でした。食料産業局の関係予算を抜粋して掲載しました。どちらかというと「スポーツの秋」より「食欲の秋」を好んでいた詳細については、農林水産省のホームページ等でご確認下さい。私ですが、今年は心を入れ替えることに……
- ▶ 陸上男子100メートルで桐生選手が、日本人で初めて10秒の壁を破る9秒98の日本新記録を出しました。ニュース映像で見た、後は「まずは、帰宅時の駅からウォーキング。代謝を良くするためにも「継続は力なり」で、スリムな身体を目指します。(K)